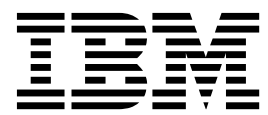


バージョン 10 リリース 1  
2017 年 10 月

# IBM Marketing Platform リリ ース・ノート

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. Each letter is composed of horizontal stripes, with the "I" having three stripes, the "B" having six stripes, and the "M" having five stripes.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 11 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Marketing Platform バージョン 10、リリース 1、モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 1  
October 2017  
IBM Marketing Platform Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1996, 2017.

---

## 目次

第 1 章 バージョン 10.1 の新機能と変更 点 . . . . .	1	プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項 . . . . .	13
第 2 章 修正された問題 . . . . .	3	<b>IBM</b> 技術サポートへのお問い合わせの前 に . . . . .	<b>15</b>
第 3 章 既知の問題 . . . . .	5		
第 4 章 既知の制限 . . . . .	7		
第 5 章 サード・パーティーのソフトウェ アに関連した問題 . . . . .	9		
特記事項 . . . . .	11		
商標 . . . . .	13		



---

## 第 1 章 バージョン 10.1 の新機能と変更点

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.1 に導入された新機能および変更点について説明します。

### システム・アラートに既読のマークを付ける機能

ユーザーは、システム・アラートのウィンドウ内でシステム・アラートに既読のマークを付けることができるようになりました。システム・アラートのウィンドウ内のすべてのアラートに既読のマークを付けた場合に新しいアラートがないときは、ユーザーがアプリケーションにログインしたときにシステム・アラートのウィンドウは表示されません。

### 製品サポート用の新しいリンク

この製品の「ヘルプ」>「サポート」の下に新しいリンクが追加されました。このリンクを使用して、IBM Knowledge Center のこの製品の資料にアクセスしてください。

新機能の詳細については、「IBM® Marketing Platform 10.1 管理者ガイド」を参照してください。



## 第 2 章 修正された問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.1 で修正された問題について説明します。

APAR 244600、問題 247985	Oracle データベースの場合、ダッシュボードが開かれる際に必要がないのに SQL 照会が実行される。
APAR 245089、問題 247994	一部のスケジュールされたタスクがトリガーされない。
APAR 243458、問題 247993	失敗した E メール の最大再試行回数がなく、すべての失敗した E メールが際限なく再送信される。
APAR 200885、問題 247983	ロケールを「中国語」に設定すると、「スケジュール」画面で「カレンダー」の一部の日付が表示されない。
APAR 246563、問題 247979	Teradata でデータ・フィルターの自動生成がエラーになる。
APAR 242287、問題 247977	TLS 1.0 を使用して SMTP サーバーのポート 25 (Office365) にテキスト通知が送信されると問題が発生する。  E メール の暗号化を使用可能にするために TLS 1.0 のサポートが追加されました。
APAR 223612、問題 247975	スケジュールされたフローチャートの実行が失敗したのに、「実行状態」が「完了」になっている。  BootstrapConfiguration で、WebSphere Application Server の名前空間バインディングを処理するようになりました。有効にするために -DENABLE_NAMESPACE_BINDINGS_CONFIG を設定してください。  -DENABLE_NAMESPACE_BINDINGS_CONFIG を true に設定すると、PLATFORM_HOME と AFFINIUM_HOME の両方に対して名前空間バインディングの検索が実行されます。指定された名前の名前空間バインディングを検索できない場合、system.out のログにメッセージが記録されます。現行では、設定はセル・スコープです。値は cell/persistent/ の下で構成できます。検索されるパラメーターの名前は AFFINIUM_HOME です。  DENABLE_NAMESPACE_BINDINGS_CONFIG を false に設定すると、名前空間バインディングの検索はスキップされます。  現在の検索ポリシーには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• システム変数</li><li>• 環境変数</li><li>• JNDI 検索</li></ul> これらの値がヌルの場合、名前空間バインディングが検査され、AFFINIUM_HOME の値がフェッチされます。
APAR 243455、問題 247973	Platform の失敗したメール通知が 15 時間経過してからでないと再試行されない。再試行間隔が 15 分ではなく 15 時間に設定されています。

APAR 230362、問題 235311	レコード数が 1000 を超えるデータ・セットが返されるとデータ・フィルターのエラーが発生する。  Oracle データベースの IN 節の限度は 999 です。この問題を解決するために、MAX_IN_CLAUSE_SIZE を制限するための検査が追加されています。
APAR 226712、問題 235310	ユーザーが「設定」>「ユーザー」>ユーザーをクリック>ユーザー・グループをクリックとナビゲートして操作すると、そのグループ内のユーザーのハイパーリンクが機能しない。
APAR 217294、問題 229584	「監査イベント・レポート」ページ内のクロスサイト・スクリプティングの脆弱性。
APAR 224869、問題 229582	データ・フィルターが多数ある場合、ユーザー・インターフェースが表示されない。
APAR 220367、問題 229580	IBM Campaign のジョブ通知は、「地域」プリファレンスが「英語(米国)」に設定されている場合しか機能しない。
APAR 227199、問題 229566	ユーザーが「スケジュール」ウィンドウ内のスケジュールされたタスクを削除すると、「ロード中」のアイコンが表示されて UI が更新されない。
APAR 227156、問題 229564	スケジュールされたタスクの終了日の日付の年で、4 桁ではなく下 2 桁が表示される。
APAR 221179、問題 229561	ユーザーが IBM Marketing Platform の認証で無効なユーザー名を使用して Cognos にログインすると、セキュリティ上の脆弱性がエラー・メッセージで発生することがある。
APR 197922、問題 235309	Cognos のメッセージがユーザーのロケールで表示されない。
PMR 232783、問題 247971	データ・ソースを使用する場合にユーザー名にアポストロフィが含まれていると LDAP 認証の問題が発生する。



## 第 3 章 既知の問題

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.1 の既知の問題について説明します。

EAR デプロイメントで致命的エラーが発生する	問題 276955	<p>デプロイメント用 EAR ファイルの作成時に致命的エラーが発生し、共通インストーラー・ログにメッセージが追加されます。このメッセージは無視できます。このエラーが発生しても、EAR ファイルは正常にデプロイされます。</p> <p>共通のインストーラーのログ内に次のエントリが出力される可能性があります。</p> <p>カスタム・アクション： com.unica.install.ia.custom. StrIndexAndPieces</p> <p>ステータス：エラー</p> <p>追加の説明：エラー - 次のクラスで予期しない致命的エラーが発生しました (Unexpected Fatal Error in Class): com.unica.install.ia.custom. StrIndexAndPieces.install()</p>
バージョン 10.0 からのアップグレード時の、コンソール・モードのインストールでメッセージが複数回表示される。	271642	バージョン 10.0 からのアップグレード時の、コンソール・モードのインストールで、「しばらくお待ちください.....」というメッセージが複数回表示される。
ユーザーがユーザー・グループに役割を割り当てる際に CSRF エラーが発生する。	275385	ユーザーがユーザー・グループに役割を割り当てる際に CSRF エラーが発生する。



## 第 4 章 既知の制限

このセクションでは、Marketing Platform バージョン 10.1 の既知の制限について説明します。

外部ユーザーの自動同期に対する制限		<p>IBM Marketing Software を Windows Active Directory または LDAP サーバーと統合するように構成した場合、ユーザーとグループは事前定義された間隔で自動的に同期されます。この自動同期の機能は制限されています。</p> <p>自動同期では、ユーザー属性のみが更新されます。グループ・メンバーの追加、削除、変更などのグループ・メンバーシップの変更は管理者が管理する必要があるため、それらの変更をインポートするには、デフォルトでは、手動同期プロセスを使用するしかありません。</p> <p>IBM Marketing Software の「ユーザー」領域の「同期化」機能を使用すると、すべてのユーザーおよびグループの完全同期を強制することができます。追加の構成は不要です。</p> <p>ただし、隠し構成プロパティを使用して、グループ・メンバーシップの変更を自動同期プロセスに組み込むこともできます。詳しくは、IBM サービスにお問い合わせください。</p>
管理ユーザーは、自分の権限を編集できます	DEF 184911	<p>Marketing Platform <b>AdminRole</b> を持つユーザー (asm_admin ユーザーなど) は、自分のアカウントに <b>PlatformAdminRole</b> を追加できます。これにより、アクセス権限の対象が全パーティションに拡大します。これは、管理権限を持つユーザーが自分の権限を編集できるようにするための許可の問題です。</p>



---

## 第 5 章 サード・パーティーのソフトウェアに関連した問題

このセクションでは、サード・パーティー・ソフトウェアに関連する Marketing Platform バージョン 10.1 の問題について説明します。

ユーザー名に非 ASCII 文字が含まれているユーザーは、シングル・サインオンを使用して IBM SPSS® Modeler Advantage Enterprise Marketing Management Edition にログインできない	DEF 131626	現時点で、この問題の対処方法はありません。
--	------------	-----------------------



---

## 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
B1WA LKG1  
550 King Street  
Littleton, MA 01460-1250  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式



においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

---

## プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザーに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置す

ることを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明すること、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』  
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。

---

## IBM 技術サポートへのお問い合わせの前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートにお問い合わせすることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するために、以下のガイドラインを使用してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの記述も作成も行いません。API オファリングの実装で支援が必要な場合は、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

### 収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 製品およびシステム環境に関する情報 (この情報は「システム情報」の説明に従って取得できます)。

### システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題がログインの妨げになっていない場合、この情報の多くは「バージョン情報」ページから得られます。このページでは、インストール済みの IBM アプリケーションに関する情報が提供されています。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択します。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合、アプリケーションのインストール・ディレクトリーの下にある `version.txt` ファイルを確認してください。

### IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト ([http://www.ibm.com/support/entry/portal/open\\_service\\_request](http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request)) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは IBM カスタマー番号とリンクしていなければなりません。アカウントを IBM カスタマー番号に関連付ける方法については、サポート・ポータル「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポー

ト」を参照してください。





Printed in Japan

**日本アイ・ビー・エム株式会社**

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21